

関西圏を中心に各界のキーマン取材する*[iMedioキーパーソンズ]*。

第32回目は、マルチメディアコンサルタントでプログラマー、そしてmACademiaの主宰者としてもおなじみの中西博氏にお話を伺った。

マッキントッシュの魅力にひかれ、仕事や趣味に活用している方なら、mACademia (マカデミア) の名を耳にした人は少なくないはず。92年に第一回目がスタートし、現在まで56回にもおよぶこの“関西最大規模のMacintoshユーザー勉強会”は、これまでの参加者が延べ5000名以上という、まさに他に例をみないスケールの大きなイベントであり、趣味をおなじくする者同士の集いの場として、いまやたいへんな人気を集めている。全国的にも注目度の高いこの会の発起人であり主宰者でもある中西博氏が、今回のキーパーソン。ten6/d'Boxの一角にある居心地のよさそうな中西さんの仕事場におじゃましたのは、2000年問題も一段落し、次の仕事の準備にお忙しいさなかのある日の夜。軽快なJ a z zをB G Mに、くつろいだ雰囲気なか、たっぷりとお話を聞くことができた。



稼働できるマシンが20台以上はあるというワンダーがいっぱい詰まった空間

中西さんは、大阪大学基礎工学部・情報工学科で大学院まで進み、卒業後いくつかの情報関連企業に籍を置き、やがてフリーのコンサルタント&プログラマーとして多方面に能力を発揮してきた、いわばマルチメディア時代の寵児的存在の人。しかし、彼の才能やそこから生み出されるパフォーマンスを知らぬほど、そんな通り一遍の言葉では説明のつかない奥行きを持った人、というのがお目にかかった印象。小学生の頃から無線機やラジオ作りに熱中していた中西さん。彼はやがてマイコンと出会い、そのままプログラミングの世界にはまる。

いちばん大切なのは、遊びごとと好奇心を持ち続けることですね。

「自分自身で自らを書き換えて、機能を変化させながら進化していくというプログラミングの世界は、一種の生命体を操るような感覚があり、その仕組みに強く惹かれたのでしょうか」とこともなげに語る彼の表情は、すっかり好奇心いっぱいの科学・工作大好き少年の風情に。「大学院時代はちょうど人工知能全盛の頃で、この分野の研究室にいたのですが、やがて興味の対象は認知科学、心理学、行動学などへとどんどんシフトし、しまいには民族学や文化人類学にまで行き着きました(笑)」「そしてその時点での僕にとってのコンピューターは完全な道具と化していましたね」。民族学博物館通いを日課のようにしていた中西さんは、卒業後の進路を同館の学芸員に絞ったものの、定員に空きがなく断念。そのため、かねてからOSの美しさに魅力を感じていた日本DECに入社。ここで体験した社内ネットワークのすごさに驚くことになる。イーサネットの基礎ともなった同社独自のこのシステムには、世界規模で12万台もの端末が既に稼働しており、それはまるでインターネットそのものだったとか。これが15年以上も前の話。中西さんはここで、主に技術者の翻訳者的役割であるKE(ナレッジエンジニア)の業務に就いていた。



居心地抜群の仕事場兼“遊び場”でなごむ中西さん

阪急電鉄が新規事業の一環として情報開発分野への進出を図ったのが、89年のこと。社内のインキュベートの促進も視野にいれたこのプロジェクトの主要プレーンとして、中西さんはヘッドハンティングされることに。「ここでのセミナーや国際シンポジウムの企画運営などが、とてもいい経験になったし、そのことで人脈が一気に広がりましたね」と当時を振り返る。ちなみに、中西さんとマックの出会いもこの阪急の研究所でのことだった。「最初はあまり好きじゃなかったんです。PC98と較べるとなんか遊びのためのマシンという感じがして」。しかし触れるうちに「レイアウトやネットワーク機能のすばらしさ、アプリの面白さにすっかり惚れ込み虜になりました(笑)」。現在の仕事の中心は、企業や学校などの技術顧問であるが、その内容は単なるコンサルティングの域にとどまらない。各企業における新規事業計画の企画立案や、コンペの先頭に立つのプレゼンターまでやってのける。ほかにも、インターネット関連のシステム開発やマルチメディア関連の講演やセミナーの企画・運営まで手掛ける彼の活動は、今後どこまで広がるかは未知数だという。いま、ストリーミングを活用したライブ放送に力を注いでいるマカデミアの活動は、「純粹に趣味として楽しんでいます」とのことだが、熱の入れようは仕事以上だ。「好奇心にまかせて、これまでにないもの、思ってもみなかったものを見つけたり創ったりして、みんなでそのワクワク感を共有したい」と目を輝かせる中西さん。この人のまわりにはいつも、遊びどころいっぱい“ワンダー”があふれているような気がした。



Mac大好き人間なら一度は覗いてみたくなるこうけあい

ten6/d'Box <http://www.ten6.com/>

mACademia (マカデミア) <http://www.mACademia.org/>